

## モンゴル近況 2018年10月

**政治**

- 1)モンゴル首相が米国を訪問、共同声明を発表した。
- 2)最高裁判所はモンゴル銅会社によるエルデネット銅山の49%の所有権を求める判決を出したが法務大臣は49%所有権を政府所有にした国会憲法裁判所の決議が効力を持つと発言。
- 3)アジア開発銀行の4000万ドルの融資にて政府は指定地域に41MWの再生可能エネルギーシステムを建設する方針。
- 4)モンゴル政府とドイツ政府は5500万ユーロの無償援助協定に各々の代表が署名をした。
- 5)歳入9.6兆Tg、歳出11.5兆Tgの予算案の審議が開始されたが、大統領は拒否する考え。
- 6)全子供の90%対象手当法案が国会に提出された。

**経済**

- 1)国税庁はオユトルゴイ鉱山会社に1億5000万ドルの追税催告状を発行した。
- 2)モンゴル・北海道ビジネスフォーラムが開催された。
- 3)オーストラリア企業が南ゴビでメタンガスの探査・開発調査を開始した。
- 4)EUとモンゴルは無税輸出品の品目増加を図る。

**社会**

- 1)第4火力発電所で事故が発生し首都全体が停電した。
- 2)政府はタバントルゴイ火力発電所の建設を決定し、オユトルゴイ鉱山は同発電所から電力を購入する方針。
- 3)ロシアのソフトローンで第3火力発電所に250MWプラントを増設する。
- 4)教職員の給料アップに関する合意が得られ、ストライキが中止された。

**教育文化**

日本の援助によるウランバートル市ハンオール地区に第75学校新設の起工式が行われた。  
高岡駐モンゴル大使は本校は障害児受け入れ、災害時の避難所として利用できると説明した。

以上